

ヨウ化水素酸

別名:

HI・aq

劇物:(沃化水素、沃化水素を含有する製剤)

(性状)ヨウ化水素は無色の刺激性、腐食性のガスである。沸点 - 35.4 。水に極めて溶けやすい(25 で水100gに128g溶ける)。ヨウ化水素酸は普通ヨウ化水素の58%水溶液で、褐色又は淡黄色の液体で激しい刺激臭がある。腐食性が強い。強酸性である。

措 置

漏 え い 時

風下の人を退避させる。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。

作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

漏えいした液は、ある程度水で徐々に希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

出 火 時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)

(消火剤)

暴 露・接 触 時

人体に対する影響

(吸入した場合)

毒性が強く、濃厚な蒸気を吸入すると肺水腫で死亡することがある。

(皮膚に触れた場合)

刺激性が強く炎症、かいようを起こす。

(眼に入った場合)

眼の粘膜が激しく刺激され炎症を起こし失明することがある。

医師の処置を受けるまでの救急方法

(吸入した場合)

直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。

呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。

(皮膚に触れた場合)

直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水又は多量の水で十分に洗い流す。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。

注 意 事 項

- 1.大部分の金属、コンクリート等を腐食する。
- 2.ヨウ化水素酸は爆発性でも引火性でもないが、各種の金属と反応して水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発するおそれがある。
- 3.直接中和剤を散布すると発熱し飛散することがある。